

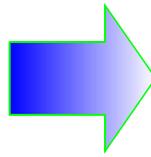
## 記者発表資料

### 下釜ダム湖：アオコの終息について

○下釜ダム湖において8月下旬より発生していたアオコは11月中旬頃から湖面の着色が無くなり、アオコの原因種である藍藻類は見受けられず、アオコが終息したことを本日確認しました。



アオコ発生状況  
(9月14日)



アオコ終息後状況  
(11月21日)

○筑後川ダム統合管理事務所ではアオコの発生を受けて、巡視の強化（陸上・湖面・空から）や水質調査、アオコの除去を実施して参りました。  
なお、水質調査については地域住民・小学生と共同で実施し、水質への関心を高めることができたものと考えています。（別紙参照）

#### 《問い合わせ先》

国土交通省 九州地方整備局 筑後川ダム統合管理事務所  
管理課長 平井 新太郎

電話：0942-39-6651(代表)

FAX：0942-35-8242(代表)

※筑後川ダム統合管理事務所ホームページ（カラーの記者発表資料はこちらから）

<http://www.qsr.mlit.go.jp/toukan/>

# 平成23年アオコ発生に関する 参考資料

筑後川ダム統合管理事務所  
管理課

## 1. アオコ発生状況

- 下釜ダムでは今年もアオコが発生。  
平成19年から5年連続。

下釜ダム:アオコ発生状況

平成19年	9月下旬～11月20日
平成20年	9月1日～10月20日
平成21年	9月11日～11月12日
平成22年	8月26日～10月26日
平成23年	8月24日～11月24日



▲通常のダム湖の色  
(平成22年1月27日)



▲アオコ発生時のダム湖の色  
(平成23年9月14日)

## 2. 今年度の取り組み内容

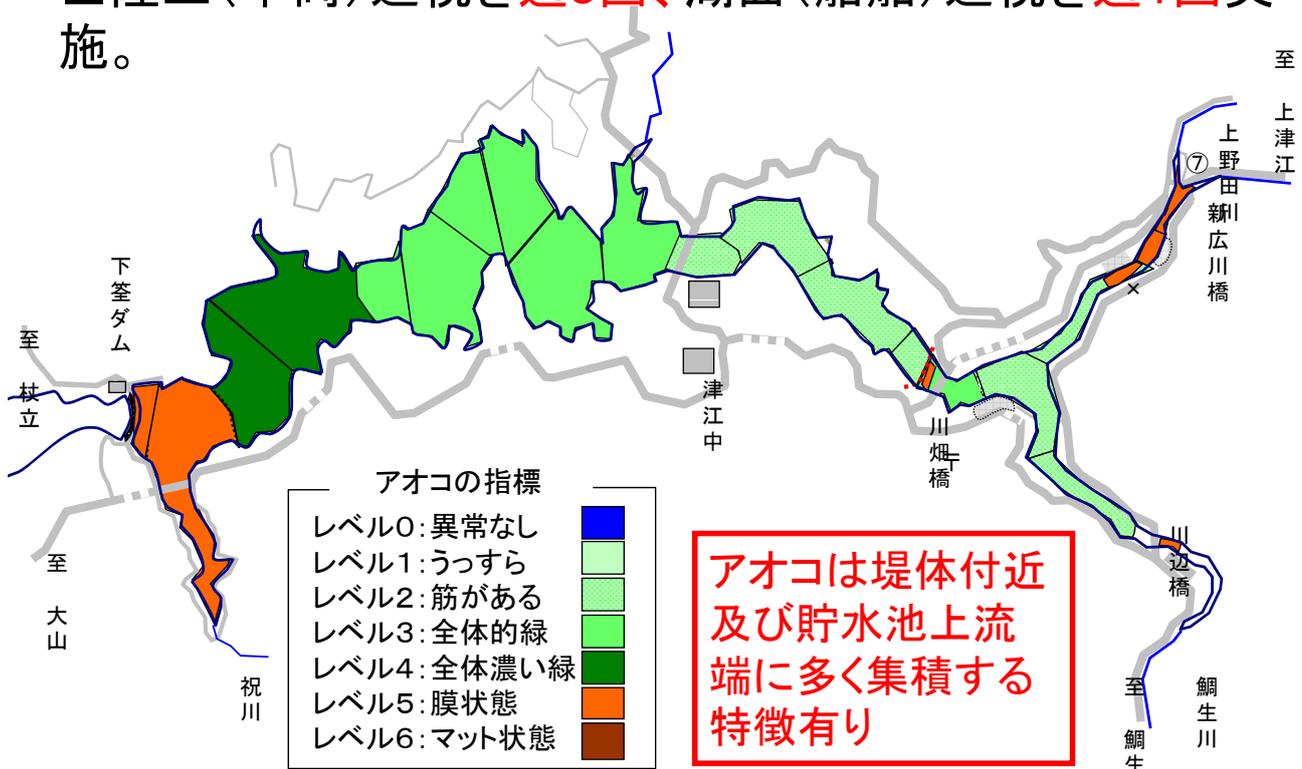
■「下釜ダム貯水池巡視等強化取組方針」を策定し、アオコ対策に取り組みました。

### 【概要】

- ①貯水池巡視の強化
- ②拡散防止を目的とした分画フェンスの増設
- ③各行政機関との連携
- ④地域住民と協同した水質調査の実施
- ⑤情報提供・注意喚起を目的とした「下釜ダムだより」の創刊
- ⑥アオコの撤去

### ①貯水池巡視の強化

■陸上(車両)巡視を週3回、湖面(船舶)巡視を週1回実施。



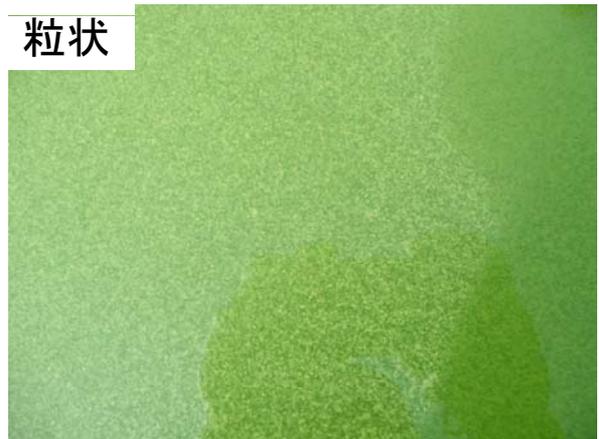
## ①貯水池巡視の強化

### ■湖面(船舶)巡視の状況

筋状



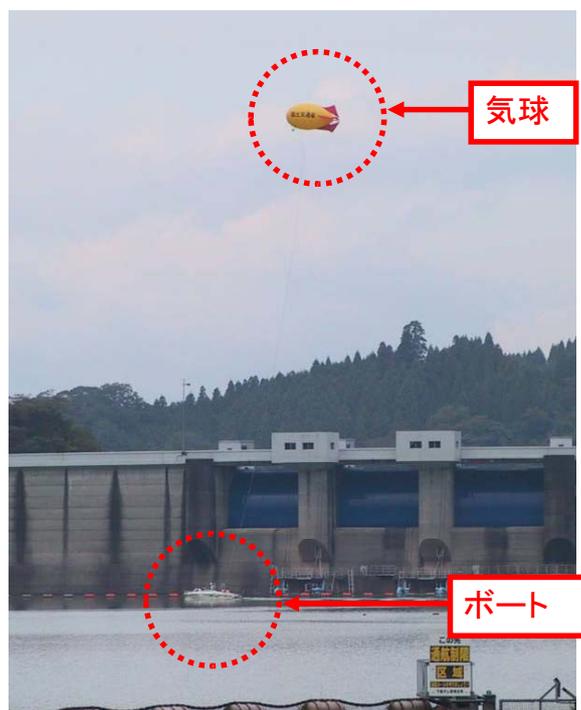
粒状



船舶巡視では、陸上巡視では確認しづらい湖面の筋状や粒状のアオコを確認

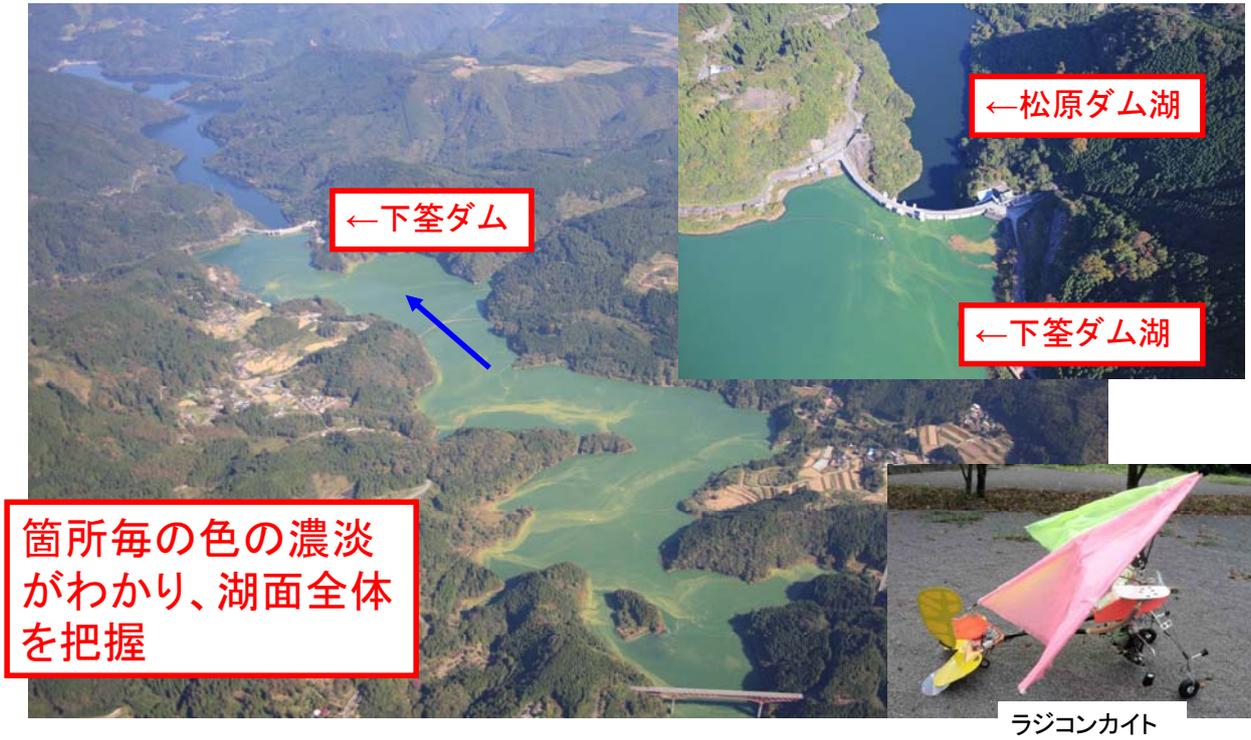
## ①貯水池巡視の強化

### ■気球からの空撮状況



# ①貯水池巡視の強化

## ■ラジコンカイトからの空撮状況



# ②分画フェンスの増設

## ■今年度は試験的に分画フェンスを2基増設



## ②分画フェンスの増設

■巡視の結果、フェンスによってアオコを分画している日と分画していない日があり、貯水池の水温分布と深い関係があることが判明。

分画している時



分画していない時



▲第2フェンス設置状況

## ③各行政機関との連携

■大分県西部振興局、家畜保健衛生所、日田市中津江振興局が、「下釜ダム流域畜産環境現地調査」を実施し、下釜ダム管内における畜産農家を巡回し、施設管理状況の確認と注意喚起を行った。

今後とも、水質調査を含め関係部局と連携しながら対応を図っていく。



▲泡の発生状況写真

## ④地域住民との水質調査

■中津江小学校の生徒及びダム管理モニターと一緒に水質調査を実施。水質への意識が高まる結果となった。



みんなが汚い水を川に流さないことが大事！

アオコはどうやったら消えるの？



地元ケーブルテレビでも水質調査の様子が放映。

## ⑤下笠ダムだより創刊

■「下笠ダムだより」を創刊。アオコの生態や、ダム管理者としてのアオコ対策の取り組み状況を掲載し、地域住民へ回覧を実施。

**第1号 下笠ダムだより** 発行：平成23年10月1日 創刊：平成23年10月1日

☆**下笠ダムだより創刊!**  
はじめまして! 私たちは下笠ダム(鶴の黒淵)を管理している下笠ダム管理事務所です。下笠ダム管理事務所は、地元のみならず「下笠ダム(鶴の黒淵)」をより深く知っていただき、身近に感じていただけるようこの「下笠ダムだより」を通じて、様々な情報を発信していきたいと考えております。

☆**今年も「アオコ」が大繁殖!!**  
新聞やTVでも放送されましたが、鶴の黒淵に今年も「アオコ」が大繁殖し湖の色になっております。5年前に増加として発生した「アオコ」ですが(平成18年より連続)、直接的な原因はまだ判明しておりません。当管理事務所では鶴ノ黒淵の管理者として原因の追究と対策に全力を注いでいます。今回は「①アオコの生態」と「②実施している対策」について紹介します。

【①アオコの生態】  
アオコは「水の藻」とも呼ばれ、植物プランクトンの中の藍藻類が大量発生したものをいいます。  
アオコの特徴は・・・  
1. 太陽光のあたる水面近くに浮遊します。(光合成をするため)  
2. 高い水温を好みます。(20℃以上で活発に1)  
3. 寒寒・リンなどの栄養塩類をエサとします。  
4. 繁殖が進むと悪臭や毒害を発生する場合があります。  
5. 水温が下がると、湖底に沈み土の中で冬を越しします。

【②実施している対策】  
1. 監視の強化  
湖底の酸化や不法な廃棄物・汚水の流入が心配な空室・陸・湖底から監視します。  
2. アオコの拡散防止  
上流へ拡散するのを防ぐため分層フェンス及び分層装置の設置をしています。  
3. 原因追及  
発生原因特定のため、水質調査の頻度と調査地点を強化しています。

☆☆イベントのお知らせ☆☆

△**第6回 上下流草刈交流会が開催されます!**  
草刈交流活動とは、毎年4月に開催される鶴ノ黒淵まつりの中で、交流地区の子どもの手で植樹された桜の木の下草刈りを、地元の野田地区と協力して行うことによりお互いの交流を深め、その活力により水源地域の活性化につけていくことを目的にNPO法人下笠ダム湖と森の会、鶴の黒淵まつり実行委員会主催でおこなわれています。もしよろしければご参加ください。

■日 時：平成23年10月9日(日) 9:30~15:00を予定  
■場 所：鶴の黒公園内  
■参加者：鶴岡市交流団、地元NPOほか 約70名程度  
■内 容：ダム見学、草刈作業、昼食交流、ボート遊覧  
■参加費：1,000円/人 ※予定

△**地域の皆様へお願い!**  
下笠ダム湖(鶴の黒淵)で湖水の異常(泡の発生や油流出など)や湖底での異常(土砂崩れや不法投棄)を発見した場合は下笠ダム管理事務所までご連絡ください。

～問い合わせ先～  
茨城川ダム統合管理事務所  
下笠ダム管理実行  
(青柳、瓦武、小野、武内)  
住所：〒319-2502  
熊本市野田区小田町東側5427-3  
TEL：0973-54-3120 FAX：0973-54-2581  
がんばろう日本!!

## ⑥アオコの撤去

### ■ 堤体付近に集積したアオコの除去を実施



撤去前の湖面の様子  
(下釜ダム堤体付近)



小網場で巻いたアオコを  
ユニックを使用してすくう



ユニックにて網をひきあげる



撤去後の湖面の様子



ダンプ集積状況



網の後ろからこさいで、ダンプに  
すくったアオコをこぼす